

2019年10月6日（日）

主 題：「一人の女性のりっぱな信仰」

—祝福の源はどこに—

テキスト：マタイ15章21-28節

はじめに

- ・イエスはガリラヤの各地で数多くのわざを行われました。ガリラヤはユダヤ人の地ですが、イエスはなぜか異邦人の地ツロの地方に行かれました。そこは今日のレバノン国になります。ユダヤ人と異邦人は交わりはありませんでした。イが隣接地フェニキヤ（現在のレバ **赤矢印**）に行かれたのは、身に危険を避けるためであったかれません。

（当時の地図）



- ・聖書に記されていることは歴史事実です。

ローマ帝国の支配色：AD1 緑色、AD2 薄い茶色 >

- ・マルコ福音書7章には次のように書かれています。
7:24 イエスは立ち上がり、そこからツロの地方へ行かれた。家に入って、だれにも知られたくないと思っておられたが、隠れていることはできなかった。
- ・イエスは多くの人々から身を隠しておられました。パリサイ人たちを避けただけでなく、5千人の人たちに「パンの奇跡」のわざを行われました。そういう流れの中で、ユダヤ人群众たちはイエスをイスラエルの王にしようとの動きも出てきました。おそらくそのような動きから身を隠されたのかも知れません。
- ・しかし、イエスの名声はすでに隣国ツロ・フェニキヤまで響き渡っていました。そこでも身を隠すことはできませんでした。そこには、キリストの救いを、必死になって求めている異邦人の女性がいました。この女性は、神の民ユダヤ人に勝る麗しい信仰を持っていました。彼女の信仰はイエスを感動させ、イエスに奇跡を行わせるほどでした。
- ・イエスはその異邦人の女性に、次のように言われました。マタイ福音書新改訳
15:28 そのとき、イエスは彼女に答えられた。「女の方、あなたの信仰は立派です。あなたが願うとおりになるように。」彼女の娘は、すぐに癒やされた。

では、なぜ異邦人の女性がイエスに高く評価されたのでしょうか？

何が、イエスを喜ばせたのでしょうか？ 2点

大切なポイント

1. フェニキヤの女性の信仰

- ・私たちは、この異邦人女性から多くのことを学ぶことができます。少なくとも次の2つの特徴があると思います。

1) 一途の信仰

15:22 すると見よ。その地方のカナン人の女が出て来て、「主よ、ダビデの子よ。私をあわれんでください。娘が悪霊につかれて、ひどく苦しんでいます」と言って叫び続けた。

さらに次の聖句には、このように書かれています。

15:23 しかし、イエスは彼女に一言もお答えにならなかった。弟子たちはみもとに来て、イエスに願った。「あの女を去らせてください。後について来て叫んでいます。」

- ・彼女は「後について来て叫んでいます。」と記録されています。皆さん。少し想像してみてください。それは実に大変迷惑なことです。しかし、女性はひるむことはありませんでした。

- ・ここで私たちはイエスにあって、祝福を受けた人々を見てみましょう。

① 盲人バルティマイの叫び → 「ダビデの子イエスよ！」

マルコ福音書 10 章 【新改訳 2017】

10:46 さて、一行はエリコに着いた。そしてイエスが、弟子たちや多くの群衆と一緒にエリコを出て行かれると、ティマイの子のバルティマイという目の見えない物乞いが、道端に座っていた。

10:47 彼は、ナザレのイエスがおられると聞いて、「ダビデの子のイエス様、私をあわれんでください」と叫び始めた。

10:48 多くの人たちが彼を黙らせようとたしなめたが、「ダビデの子よ、私をあわれんでください」と、ますます叫んだ。

10:49 イエスは立ち止まって、「あの人を呼んで来なさい」と言われた。そこで、彼らはその目の見えない人を呼んで、「心配しないでよい。さあ、立ちなさい。あなたを呼んでおられる」と言った。

10:50 その人は上着を脱ぎ捨て、躍り上がってイエスのところに来た。

- ・盲人バルティマイは、周りがたしなめ黙らせようとしました。しかし、彼はますます叫び立てました。ここに彼が一途に救いを求めた姿を見ることができます。

② 長血を患った女性 → 「み衣にさわりさえすれば」

ルカ福音書 8 章

8:43 そこに、十二年の間、長血をわずらい、医者たちに財産すべてを費やしたのに、だれにも治してもらえなかった女の人がいた。

8:44 彼女はイエスのうしろから近づいて、その衣の房に触れた。すると、ただちに出血が止まった。

8:45 イエスは、「わたしにさわったのは、だれですか」と言われた。みな 自分ではないと言ったので、ペテロは、「先生。大勢の人たちが、あなたを囲んで押し

合っています」と言った。

8:46 しかし、イエスは言われた。「だれかがわたしにさわりました。わたし自身、自分から力が出て行くのを感じました。」

8:47 彼女は隠しきれないと知って、震えながら進み出て御前にひれ伏し、イエスにさわった理由と、ただちに癒やされた次第を、すべての民の前で話した。

- ・ 12年長血を患った女性（ユダヤ社会では汚れた女性）は、ここでイエスからお褒めの言葉をいただきました。

③ 4人の人々に担がれてきた中風病みの人 → 「5人が一つの信仰」

マルコ2章

2:1 数日たって、イエスが再びカペナウムに来られると、家におられることが知れ渡った。

2:2 それで多くの人が集まったため、戸口のところまで隙間もないほどになった。イエスは、この人たちにみことばを話しておられた。

2:3 すると、人々が一人の中風の人を、みもとに連れて来た。彼は四人の人に担がれていた。

2:4 彼らは群衆のためにイエスに近づくことができなかつたので、イエスがおられるあたりの屋根をはがし、穴を開けて、中風の人が寝ている寝床をつり降ろした。

2:5 イエスは彼らの信仰を見て、中風の人に「子よ、あなたの罪は赦された」と言われた。

- ・ イエスは5節で「彼らの信仰を見て」と言われました。彼らというのは中風の人と4人の担いだ人たち5人です。5人はイエスに癒やしていただけるという、強い願い（信仰）がありました。しかしこの原語の箇所は、「彼らの一つの信仰を見て」、とあります。
- ・ つまり、彼らが屋根をはがし、穴をあけて、病人の寝床をそのままつりおろしたという行為、まったく非常識な行為、それほどもましてイエスに癒やしていただくという行為（それがイエスには見えた）がありました。

- ・ 私たちはここまで、3人の人たちの姿を見てきました。

これらに人々には共通項がありました。それはみな切実な必要を抱えていたこと。そして助けを得たいという「一途の信仰」がありました。

皆さん。神への信仰を誇り頼みとしていたユダヤの中央エルサレムに住むパリサイ人、律法学者らは古い伝統に固執し、聖書の精神（中心）から遠ざかっていました。

- ・ それに対して、体の不自由な盲人バルテマイ、長血を患っていた女性、そして中風病みという当時不治の病を抱えた人などは、社会でもっとも低い（顧みられない）立場にあった人たちでした。
- ・ そうです。フェニキヤの女性もユダヤ人からは、異邦人よ、神を知らない人よ、と下げすまれていました。そのような彼女の中に、イエスはユダヤ人にも到底及ばない、美しい信仰を見出されたのでした。
- ・ イエスはこのことを、どんなに喜ばれたことか想像に難しくありません。

ですから、イエスが奇跡をなされたのは自然のことでしょう。つまり、イエスはフェニキヤの女性の「一途の信仰」に応答されました。神の御子イエスへの「一途の信仰」が祝福をもたらしました。

- ・イエスは言われました。 **マタイ福音書**

6:24 だれも二人の主人に仕えることはできません。一方を憎んで他方を愛することになるか、一方を重んじて他方を軽んじることとなります

- ・もうひとつイエスを喜ばせたことがありました。

2) 謙遜な信仰

15:25 しかし彼女は来て、イエスの前にひれ伏して言った。「主よ、私をお助けください。」

- ・女性は「**イエスの前にひれ伏した**」、とあります。これが女性の行動でした。さらに女性は自分を子犬にたとえました。

15:27 しかし、彼女は言った。「主よ、そのとおりです。ただ、小犬でも主人の食卓から落ちるパン屑はいただきます。」

15:28 そのとき、イエスは彼女に答えられた。「女の方、あなたの信仰は立派です。あなたが願うとおりになるように。」彼女の娘は、すぐに癒やされた。

- ・ここでいう、子犬とは異邦人のこと、子どもたちとはイスラエルの民のこと、パンは命を与えるものです。ここに女性の謙遜な信仰姿勢を見ることができます。イエスは「**あなたの信仰は立派です**」(15:28)と言われました。口語訳聖書では「**あなたの信仰は見あげたものである**」となっています。
- ・この「りっぱ」、「見あげたもの」とは、原語では「メガ」(mega)です。原爆や水爆の大きさを表す時に用いるメガトンの「メガ」です。非常に大きいという意味です。マガフォン(拡声器:声を大きくするもの)。メガポリス(巨大都市)など、「メガ」がついているものは大きさを表します。
- ・イエスはこの女性の「大きな信仰」に、感動されました。そしてその場にはいない子どもの病をも癒してしまわれました。

- ・皆さん。イエスはある時、小さい「からし種」信仰を賞賛されました。そのイエスが女性の信仰を「メガ」(巨大:りっぱ)と言われました。

- ・ここで注目したいことは、女性は娘を治してくださいと言いませんでした。

15:25 しかし彼女は来て、イエスの前にひれ伏して言った。「主よ、私をお助けください。」

「**私をお助けください。**」と言いました。女性の必死の願いが、イエスの心を動かし、子どもの悪霊を追い出しました。ここにイエスの権威を見ることができます。

- ・フェニキヤの女性の謙遜な心が、言葉と行動に現れました。それでは、私たちはどんな信仰を持っているのでしょうか。

2. 私たちの信仰

・ここで少し整理してみましょう

1) 何がイエスを喜ばせたか

①「一途の信仰」

15:22 すると見よ。その地方のカナン人の女が出て来て、「主よ、ダビデの子よ。私をあわれんでください。娘が悪霊につかれて、ひどく苦しんでいます」と言って叫び続けた。

②「謙遜な信仰」

15:26 すると、イエスは答えられた。「子どもたちのパンを取り上げて、小犬に投げてやるのは良くないことです。」

15:27 しかし、彼女は言った。「主よ、そのとおりです。ただ、小犬でも主人の食卓から落ちるパン屑はいただきます。」

2) 女性の信仰に学ぶ

- ・彼女のこのような信仰が、イエスにあって娘を悪霊から解放させました。つまり母親の信仰姿勢です。母親の信仰姿勢が、大きな結果をもたらしました。まさしく「メガ」(巨大：りっぱ)です。
- ・愛する皆さん。私たちの神への信頼(信仰)が、事を動かすのです。なんという幸いではありませんか。

{例 話} 無限の祝福の流れ

- ・今年9月の台風15号は、関東地区に大きな被害をもたらしました。とくに千葉県では、44万軒以上が停電状態となり復旧工事が遅れ大変困りました。電化製品がほとんどの家にはある便利な時代となりましたが、電気が流れないという停電が、長期にわたり続き大きな被害が出てしまいました。
- ・こんな話があります。ある米国人がインドにできた新しい水力発電所を見学しました。それは非常に大きな水力発電所でした。ガイドさんが出てきて、巨大なダムの方までエレベーターで降りて行きました。そして、落ちる水の圧力で羽根車を回して、巨大なタービンを動かすのを見ました。
- ・ところがその時、電気が発生していないことに気がつきました。彼はガイドさんに「ダムも水もタービンもあるのに、どうして電力が作られないのですか」と尋ねました。するとガイドは次のように答えました。
- ・「今はバルブが閉じられていて、水が流れないからです。バルブを開けて水を流さない限り、電力は生み出されません。」
- ・皆さん！ 私たちは教会へ行き、神のメッセージを心ゆくまで聞いても、もし私たちの心のバルブが閉じているならば、何にもなりません。神がどんなにすばらしいお方か、隣人に伝わらないのです。救い主である偉大なイエス・キリストを信じ、喜びのある人生に変えられたら、心のバルブを開くことです。そうすれば、キリストの電流というすばらしさが、周りの人々に伝わっていきます。
- ・イエス・キリストは、あなたがたは「全世界に出て行き、すべての造られた者に、福音を宣べ伝えなさい」(マルコ 16:15)、と言われました。このようにして、神の祝福の流

れは広がっていくのです。

ま と め

主 題：「一人の女性のりっぱな信仰」

—祝福の源はどこに—

- ・私たちは今日、異邦人であったフェニキヤの女性の信仰から学びました。
イエスは彼女の信仰は、選民イスラエルの内にも見られない「メガ」（巨大：りっぱな）信仰でした。メガ信仰とはどんな信仰であったでしょうか。
- 1. 「一途の信仰」
- 2. 「謙遜な信仰」
- ・この女性の信仰が娘を悪霊から解放させたのでした。
いかがでしょうか？ 私たちは同じイエスを、同じ神を信じる者ではありませんか。 私たちはどんな信仰を持っているのでしょうか。
自問自答し、主様の前に出ようではありませんか。

* God bless you !